

地域包括支援センター坂下通信

認知症の人が住んでいる世界を理解するシリーズ④

認知症になると記憶障害などから今までできていたことが上手くできなくなったり、まちがいが増えることがあります。そのまちがいを家族や近所の人から指摘された時に、「自分ではまちがいに気が付いていない」もしくは「上手くいかないことを気付かれたくない」「失敗を認めたくない」等の気持ちから『しらじらしいウソ』と聞こえる言い訳をされることがあり、トラブルになることがあります。

(現れ方の例)

汚れた下着をタンスの中から見つけたお嫁さん。「お母さん、洗濯するものはしまわないで!!」とつい強い口調。本人はとっさに「私じゃないわよ。孫が隠していったんじゃないの。」と知らん顔。

実は本人は、失禁したことを恥ずかしく思い、結果タンスにしまい込んでいましたが、それ自体覚えていません。

(この場面で起きていること)

○本人はしまい込んだことを忘れていたため、何を言われても「知らない」と言い張ったり、自分を守ろうとして、必死に言い逃れをしているのかもしれませんが。

○お嫁さんは、本人が「孫が隠していった」と言ったことを『ウソをついている』と思い、素直に謝らない本人を不愉快に感じたのでしょう。

(対応のコツ)

本人にとっては自分がした『行動自体』を忘れていたので本人を責めても、ただ怒られたという嫌な思いが残るだけです。本人の話に耳をかたむけ、どうしてそういう行動をしたのかを考え一緒に解決をしていこうとする姿勢を見せることが必要です。そこから信頼関係が生まれ、問題となる行動が減っていくこともあります。

☆誰にでもある自己防衛本能。子どものころ親に叱られ、とっさにウソをついた覚えはありませんか？
これも人間の自然な本能だと理解することが大切です。



地域包括支援センター坂下
春日井市神屋町1306-1

☎：93-1314

開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：辻本、永杉、木根、戸田、飯田

地元のお元気さん



このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

坂下健康体操クラブ



今月は坂下区公会堂で活動している、坂下健康体操クラブの紹介です。

このクラブは講師である望月先生が、健康体操の仲間作りをしたいと坂下町のお友達と一緒に昭和56年に始められました。現在は毎週水曜日の午後1時から2時30分まで、筋力作り・脳活運動・口腔体操等を行っています。参加対象者は60歳以上の方で、毎回65歳～88歳の方が25名程参加しています。



望月先生は愛知県が養成している「愛知県健康づくりリーダー」やリズム体操研究会公認指導員で、介護予防の取り組みを市内各所で行っているスペシャリストです。

見学や体験利用もできますので、ご興味・ご関心のある方は直接会場に行ってみてください。



★望月先生からの一言★

私たちと坂下健康体操クラブで週1回汗を流してみませんか？
介護予防は日々の体操が大切です。『ながら運動』や『毎日続けられる簡単な運動』で健康づくりをしていきましょう。



地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

